

佐賀県感染症発生動向調査週報

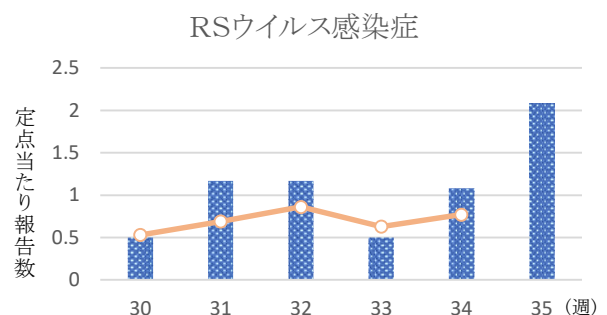
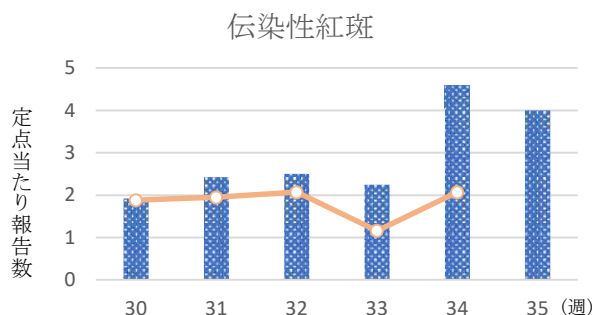
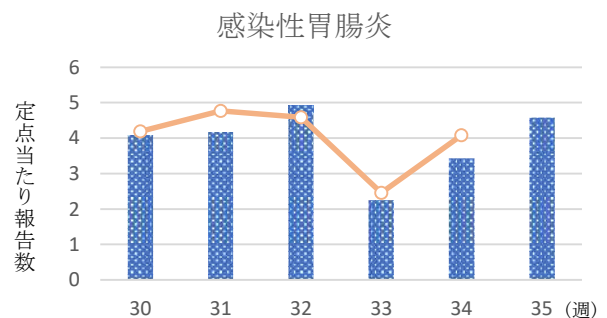
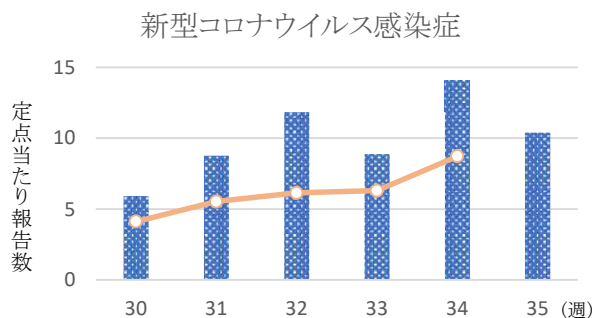
2025年第35週 2025年8月25日(月)～2025年8月31日(日)

<https://kansen.pref.saga.lg.jp>

佐賀県感染症情報センター

◆注目疾患の動向

- 【定点当たり報告数の多い疾患】①新型コロナウイルス感染症(10.38:249名) ②感染性胃腸炎(4.58:55名) ③伝染性紅斑(4.00:48名) ④RSウイルス感染症(2.08:25名) ⑤A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(1.75:21名)
- 【腸管出血性大腸菌感染症】1件1名(O157)の報告がありました。手洗いや食材の十分な加熱等を心がけ、感染予防に努めましょう。
- 【新型コロナウイルス感染症】患者報告数は249名で、定点当たり報告数は減少(14.04→10.38)しました。手洗いや咳エチケット、こまめな換気などにより感染予防に努めましょう。発熱で受診される際は事前に医療機関に連絡し、マスクを着用しましょう。
- 【伝染性紅斑】患者報告数は48名で、定点当たり報告数は減少(4.58→4.00)しました。流行発生警報は継続中です。手洗い、咳エチケット等により感染予防に努めましょう。
- 【百日咳】21名の報告がありました。百日咳は、感染力が強く、百日咳の予防接種を受けていない乳幼児が感染すると重症化することがあります。咳が長引く場合は百日咳や他の呼吸器感染症である可能性も考え、早めに受診をしましょう。



◎棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

※各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。

<https://kansen.pref.saga.lg.jp>

◆全国版感染症週報(IDWR)

2025年第33週(8月11日～8月17日)

・ 発生動向総覧	<第33週> 伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い／その他最新動向
・ 注目すべき感染症	<今週は該当記事はありません>
・ 感染症関連情報	病原体情報／海外感染症情報
・ 速報	<今週は該当記事はありません>
・ 読者のコーナー	<今週は該当記事はありません>

※詳細は国立健康危機管理研究機構 感染症発生動向調査週報リンク先のホームページを御覧ください。

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>

佐賀県感染症発生動向調査週報

◆全数届出の感染症（佐賀県） 2025年第35週 2025年8月25日(月)～2025年8月31日(日)

疾病名		結核 (二類感染症)	腸管出血性大腸菌感染症 (三類感染症)
患者 (管轄保健福祉事務所)			
感染原因・感染経路			
無症状病原体保有者		1名	1名 *1
2025年届出累計		63名(今週1名)	15名(今週1名)
2024年	同期累計	59名	17名
	届出累計	82名	39名

*1 第34週に届出のあった患者の同居家族です。

疾病名		梅毒 (五類感染症)	百日咳 (五類感染症)
患者		4名:20歳代男性1名 20歳代女性2名 *2 50歳代男性1名	21名:乳幼児男児1名 小学生低学年女児2名 小学生高学年男児1名 *3 小学生高学年女児7名 *4 中学生男性5名 *5 20歳代女性2名 *6 40歳代男性1名 50歳代女性1名 70歳代男性1名 *6
感染原因・感染経路		性的接触(異性間)、不明	家族内感染、その他、不明
無症状病原体保有者		0名	
2025年届出累計		43名(今週4名)	891名(今週21名)
2024年	同期累計	50名	2名
	届出累計	83名	15名

*2 うち1名の診断週は第34週です。

*3 診断週は第22週です。

*4 うち1名の診断週は第27週、1名の診断週は第32週、1名の診断週は第34週です。

*5 うち1名の診断週は第22週、1名の診断週は第28週、1名の診断週は第34週です。

*6 診断週は第34週です。

佐賀県感染症発生動向調査週報

https://kansen.pref.saga.lg.jp

佐賀県感染症情報センター

◆佐賀県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 2025年第35週 2025年8月25日(月)～2025年8月31日(日)

定点種別 (定点数)	管轄保健福祉 事務所 病名	佐賀中部	鳥栖	唐津	伊万里	杵藤	計	前週	全国 (第34週)
インフルエンザ／ COVID-19 (24)	インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)							3 0.13	1,183 0.31
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)※1	113 11.30	43 10.75	29 7.25	10 5.00	54 13.50	249 10.38	337 14.04	33,275 8.73
小児科 (12)	RSウイルス感染症	2 0.40	5 2.50	8 4.00	7 7.00	3 1.50	25 2.08	13 1.08	1,790 0.77
	咽頭結膜熱	1 0.20		3 1.50			4 0.33	5 0.42	749 0.32
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5 1.00	5 2.50	8 4.00		3 1.50	21 1.75	40 3.33	3,096 1.34
	感染性胃腸炎	21 4.20	19 9.50	1 0.50	2 2.00	12 6.00	55 4.58	41 3.42	9,469 4.08
	水痘							2 0.17	604 0.26
	手足口病					1 0.50	1 0.08		1,063 0.46
	伝染性紅斑	6 1.20	11 5.50	10 5.00	14 14.00	7 3.50	48 4.00	55 4.58	4,809 2.07
	突発性発しん		5 2.50	1 0.50	1 1.00	1 0.50	8 0.67	14 1.17	778 0.34
	ヘルパンギーナ		8 4.00				8 0.67	6 0.50	2,243 0.97
	流行性耳下腺炎		1 0.50		1 1.00		2 0.17	2 0.17	86 0.04
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								9 0.01
	流行性角結膜炎	1 0.50					1 0.25	3 0.75	793 1.14
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								14 0.03
	無菌性髄膜炎								33 0.07
	マイコプラズマ肺炎	1 0.50		1 1.00			2 0.33	1 0.17	472 0.98
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								3 0.01
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)								2 0.00

細字は定点当たり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19):新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))であるものに限る。)

◆佐賀県感染症発生動向調査

急性呼吸器感染症 (ARI)

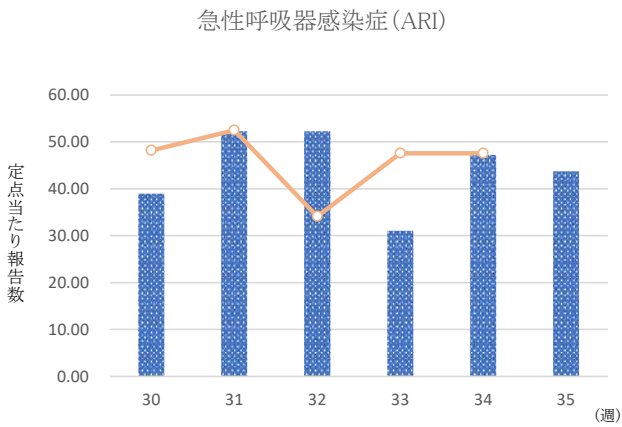
[定点報告:五類感染症(週報分)]

2025年第35週 2025年8月25日(月)～2025年8月31日(日)

定点種別 (定点数)	管轄保健福祉 事務所 病名	佐賀中部	鳥栖	唐津	伊万里	杵藤	計	前週	全国 (第34週)
急性呼吸器感染症 (24)	急性呼吸器感染症※1	471 47.10	92 23.00	248 62.00	47 23.50	192 48.00	1,050 43.75	1,133 47.21	180,714 47.57

細字は定点当たり報告数

急性呼吸器感染症 定点	急性呼吸器感染症※1
0歳	55
1～4歳	446
5～9歳	176
10～14歳	69
15～19歳	23
20～29歳	41
30～39歳	36
40～49歳	46
50～59歳	45
60～69歳	33
70～79歳	43
80歳以上	37
合計	1,050
前期計	1,133
当期間/前	0.93
増減数	-83



◎棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI): 症例定義 (咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ、医師が感染症を疑う外来症例) に一致し、急性呼吸器感染症と診断された患者

◆佐賀県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

2025年第35週 2025年8月25日(月)～2025年8月31日(日)

インフルエンザ /COVID19 定点	インフルエン ザ(鳥イン フルエンザ を除く)	新型コロナ ウイルス感 染症 (COVID- 19)※1	小児科 定点	RSウイル ス感染症	咽頭結膜 熱	A群溶血 性レンサ 球菌咽頭 炎	感染性胃 腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅 斑	突発性発 しん	ヘルパン ギーナ	流行性耳 下腺炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス に限る)
0～5ヶ月		5	0～5ヶ月				1							0～5ヶ月							
6～11ヶ月		4	6～11ヶ月	5			5				3	1		6～11ヶ月					1		
1歳		7	1歳	11	3	1	18			2	3	2		1歳							
2歳		6	2歳	4	1		10			4	1	2		2歳							
3歳		1	3歳	3		3	3			10		2		3歳					1		
4歳		2	4歳	1		2	4			7	1			4歳							
5歳		3	5歳			4	3			9		1		5歳							
6歳		3	6歳	1		1	1		1	7				6歳							
7歳		4	7歳			2	2			5				7歳							
8歳		4	8歳			3	1			3			1	8歳							
9歳		10	9歳			2								9歳							
10歳～14歳		18	10歳～14歳			3	5			1			1	10歳～14歳							
15歳～19歳		14	15歳～19歳											15歳～19歳							
20歳～29歳		17	20歳以上				2							20歳～29歳		1					
30歳～39歳		14												30歳～39歳							
40歳～49歳		29												40歳～49歳							
50歳～59歳		34												50歳～59歳							
60歳～69歳		20												60歳～69歳							
70歳～79歳		34												70歳以上							
80歳以上		20																			
合計		249	合計	25	4	21	55		1	48	8	8	2	合計		1			2		
前期計	3	337	前期計	13	5	40	41	2		55	14	6	2	前期計		3			1		
当期間/前		0.74	当期間/前	1.92	0.80	0.53	1.34		***	0.87	0.57	1.33	1.00	当期間/前	***	0.33	***	***	2.00	***	***
増減数	-3	-88	増減数	12	-1	-19	14	-2	1	-7	-6	2		増減数		-2			1		

***は前期計が“0”のとき

※1 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19): 新型コロナウイルス感染症 (病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス (令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))であるものに限る。)

[illegible]

(11)重症急性呼吸器症候群については、病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。(12)重症肺炎症候群については、病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。(13)重症熱性血小板減少症候群については、病原体がプレウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。(68)急性脳炎については、エウスタイン脳炎、西部クマ脳炎、タニシ媒介脳炎、東部クマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラ脳炎及びアフリカ熱を除く。